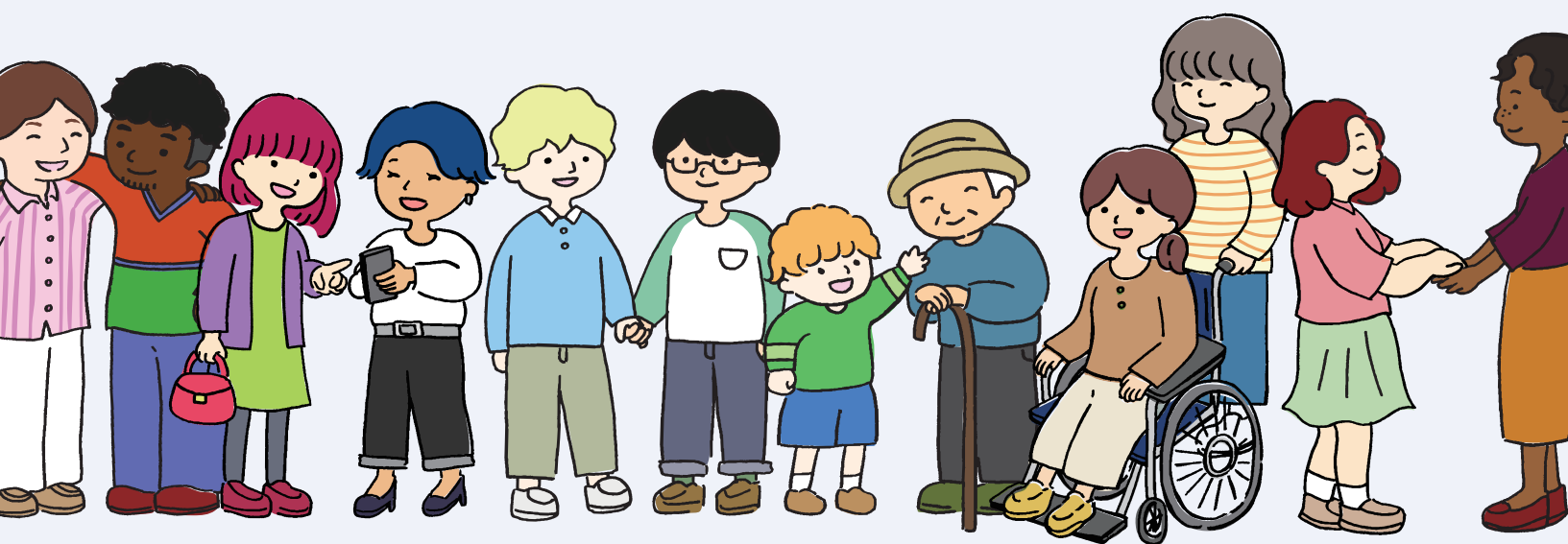


今、現在、ここから考える 災害時のつながり

本年1月1日の令和6年能登半島地震により、甚大な被害が発生しました。現在も復旧活動が行われ、被災者に対する支援が求められています。地震等の災害が発生した際、被災者への支援は画一的・機械的なものになりがちであり、平時において特別な配慮（スペシャルニーズ）が必要な方々に対しては、十分な支援が期待できないことが多いです。

今回のシンポジウムでは、府民の防災意識の向上を図るとともに、災害に備えて平時からのネットワーク構築を目指すべく、災害時に特別な配慮（スペシャルニーズ）が必要な方々に対する災害時の課題・支援について基調報告をいただき、その後、大学・NPO・福祉、それぞれの立場で災害の被災地にて支援に携わった人々をお招きしてパネルディスカッションを行います。



開催日時 2024 **10/26** sat 参加無料 —— オンライン参加可能
14:00 ~ 16:30

会場 京都経済センター3-F 会議室 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 78

当シンポジウムは、オンライン（Zoomによる配信）でも視聴参加していただけます。

お申込方法など、詳しくは裏面をご覧ください。

主催 災害時連携 NPO 等ネットワーク

共催 近畿労働金庫

多くの人と子どもの
明白を応援
プロジェクト
R 近畿ろうきん
はたらくみんなを全力応援!

後援 京都府災害ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター、京都労働者福祉協議会、京都府生活協同組合連合会

当日のスケジュール

14:05 ■ 基調講演『社会福祉法人ネットワークの機能と課題－能登半島地震の活動を事例に』

村木 宏成 氏 全国社会福祉法人経営青年会 会長



昭和 53 年秋田県生まれ。大学院修士課程修了後、明光義塾東蒲田教室教室長を経て、平成 18 年社会福祉法人愛生会に入職。総務課長、副施設長、法人事務局長、副理事長を経て、平成 24 年、特別養護老人ホームケアホームおおゆ施設長に就任。その後、副理事長兼統括施設長を経て、令和 4 年 3 月、社会福祉法人愛生会理事長に就任。現在に至る

15:00 ■ パネルディスカッション

地震等の災害時において、大学・NPO・福祉、それぞれの立場で震災等の被災地にて支援に携わった人々をお招きし、パネルディスカッションを行います。

🗣️ パネリスト



大門 大朗 氏 福知山公立大学地域経営学部准教授

専門は社会心理学、災害心理学。主な研究テーマは、災害ボランティア、災害復興、防災行動。令和 6 年能登半島地震後には石川県七尾市を中心に 20 回近く現地入りし、学生とともに現地の支援活動を行ってきた。



日比 泰広 氏 特定非営利活動法人鍼灸地域支援ネット

鍼灸師、僧侶。東日本大震災において、石巻の保育園の方から頼まれ現地に向かってから、郡山や大槌町など約 6 年間支援を継続。それをきっかけに団体を設立。避難所や保育園、幼稚園での活動が中心に行ってきた。



村木 宏成 氏 全国社会福祉法人経営青年会 会長

🗣️ コーディネーター



平尾 剛之 災害時連携 NPO 等ネットワーク 副会長

特定非営利活動法人きょうと NPO センター 常務理事・統括責任者

16:30 ■

お申込方法 (来場参加・オンライン視聴参加)

参加
無料

定員
60 名

10/24
〆切



以下の Web ページからお申込みください。

受付終了後、当日ご参加いただく際の URL をメールにてご案内いたします。

<https://hitokoe-npo.jp/?p=3503>

スマートフォンなどで左の二次元コードを読み込むと、

簡単に申込メールフォームが設置された Web ページを開くことができます。

お問合せ先

災害時連携 NPO 等ネットワーク運営事務局

京都府文化生活部文化生活総務課府民協働係 担当：鈴木・村上・國府・五明

TEL 075-414-4883 FAX 075-414-4230 Mail contact@hitokoe-npo.jp

- ひと声かけて支え合う -

災害時連携 NPO 等ネットワーク

<https://hitokoe-npo.jp>



「災害時連携 NPO 等ネットワーク」は自然災害による被害が京都府内で発生した場合、府内で社会課題の解決や公益性を担って活躍している非営利組織 (NPO 法人、自治組織、経済団体等) が有する専門性や経験を活かし、連携することで「特別なニーズ」をもった被災者への支援及び NPO 等の相互支援を行うことができるよう関係団体との繋がりを持ち、支援ノウハウの習得や人材育成、情報交換等を行うことを目的として活動しています。



この事業は近畿ろうきん NPO パートナシップ制度における「(ろうきん) 働く人と子どもの明日を応援プロジェクト 2024」により実施しています。